

第 20 回 CO2 環境対策技術研究会

日時：2014年7月17日(木)15:00~17:00

場所：有明興業(株)

第 20 回研究会は、江東区若洲の有明興業(株)の施設を見学した。有明興業は産業廃棄物の処理業者で、産業廃棄物を中間処理した後、廃棄物から固形燃料及び工業原料を製造・販売している。施設見学の前に工場の概要について説明していただき、見学後に質問と意見交換を行った。交流会は新木場駅周辺の「しんきば季膳房」で行った。

見学会・講演会への参加者は 16 名、交流会参加者は 12 名でした。

スケジュールと内容は以下のとおりである。

1. 集合：2014年7月17日(木) 14時00分 JR 京葉線線新木場駅改札口

2. 施設の説明と見学：15:00~16:30

会議室でビデオ等により施設の概要の説明を受けた後、2班に分かれて、有明興業の廃棄物受け入れから燃料等の搬出までの工程を見学した。

3. 質問・意見交換：16:30~17:00 5階会議室

説明と意見交換 有明興業(株)営業部営業1課主任 吉田 博一様

4. 交流会：17:30~19:30 「しんきば季膳房」

1. 施設の見学：15:00~16:30

1) 5階の会議室で吉田 博一主任から工場の概要について説明があり、その後ビデオで廃棄物の受入れから搬出までの流れを見せて頂いた。ビデオの DVD を参加者全員にいただいた。

見学は2班に別れ、若洲工場とリサイクルポートの2カ所見学させていただいた。

5階会議室内の説明を聞く参加者



2) 有明興業の概要

(1)1958(S33)年に創業、2001(H13)年に現在地の江東区若洲に移転。

(2)若洲公園キャンプ場に隣接し、専用岸壁を有しており、船と自動車による搬入・搬出が可能な立地にある。

(3)受入れ廃棄物量は 250~300 台／日、300 トン／日、90 万トン／年

(4)プラスチック類は分別し、圧縮・梱包して燃料として販売している。

RPF（固形燃料）としても販売している。

(5)一般産業廃棄物はシュレッダーで破碎し、金属類を回収し、残りはシュレッダーダストとして搬出している。シュレッダーダストはゲートブリッジを渡ってすぐ近くにある「東京臨海リサイクルパワー(株)」に料金を支払って、燃料として引き取って貰っている。

(6)環境対策

① 重機のハイブリッド化

② 粉じん対策 集塵機とバラ積み時にはミストの使用

③ 安全衛生委員会 リサイクルセミナー

梱包されたプラスチック



RPF 箱の中に小粒の固形燃料が入っている



入口の放射能感知器



自動車の解体作業場



シュレッダーの歯 使用前



シュレッダーの歯 使用后



廃棄物の受入れ状況



工場のすぐ隣がゲートブリッジ



3. 交流会：17：30～19：30 「しんきば季膳房」

- 1) 参加者は、12名。
- 2) 会場の雰囲気は良く、2時間たっぷり懇談できて、有意義な交流会であった。



以上
(文責：内藤 堅一)